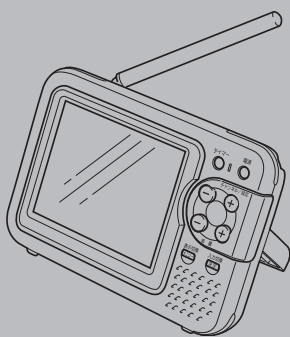
防水液晶テレビ

SY-4100

取扱説明書

保証書付

この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

このセットは日本国内専用です。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。
This TV is tuned to receive channels in Japan.　It cannot receive channels outside Japan that use different broadcast systems or frequencies.

主な特長

■ 雨や雪、水しぶきでも使用可能な防水（JIS保護等級6耐水形相当）液晶テレビ
■ 高性能TFT(Thin Film Transistor) アクティブマトリクス方式により、一段と鮮明で美しいテレビ画像がお楽しみいただけます。
■ 電波を感知して自動選局するオートチューニングと、1チャンネルずつ希望のチャンネルを選局できるマニュアルチューニングの2選局方式。
■ VHF1～12ch、UHF13～62chのオールチャンネルが楽しめます。
■ 内蔵充電池、家庭用電源、カーバッテリーと、使う場所に合わせて選べる3電源方式。
■ オーディオ／ビデオ入力端子装備。ビデオデッキと接続可能。
■ カウントダウンタイマー搭載。設定した時間が経過するとアラーム音と表示でお知らせします。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

1 安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています（左の例は感電注意）。
	⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です（左の例は分解禁止）。
	●記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

交通事故、転倒

● 自動車などの運転中は液晶テレビを絶対に見ないでください。交通事故の原因となります。

● 歩行中に液晶テレビを見ないでください。転んだり、交通事故などの原因となります。

落とさない、ぶつけない

● 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 主電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

煙、臭い、発熱などの異常について

● 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの

水や金属が入らないように

● 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 主電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。
• 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水まわりで使用するとき

● 風呂、シャワー室など水まわりでご使用の際は、必ず内蔵充電池を使用してください。ACアダプターやカーアダプターをご使用になると感電の原因となります。

● コネクターカバーを確実にロックしてください。火災や感電の原因となります。

湿気の多い場所に放置しない

テーションに連絡する。

煙、臭い、発熱などの異常について

- 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 主電源スイッチを切る。
  2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

落雷について

- 雷が鳴り出したらアンテナ線やACアダプターの差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。

クリップ式アンテナコード（別売品）ご使用時

- 雷が鳴り出したら本機やクリップ式アンテナコードには触れないでください。感電の原因となります。
- クリップ式アンテナコードを、壁面のアンテナ端子や外部アンテナに直接接続しないでください。落雷により火災や感電の原因となります。
- クリップ式アンテナコードを、風呂のお湯（水）の中に浸けないでください。落雷により火災や感電の原因となります。

分解・改造しない

- 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
- 内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

火中に投入しない

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水の中に入れない

- 水中で使用すると感電の原因となります。また、水中に落ちるおそれのある場所に置かないでください。水中に落としたまま放置すると感電の原因となります。

- コネクターカバーを確実にロックしてください。火災や感電の原因となります。

湿気の多い場所に放置しない

- 風呂やシャワー室など、湿気の多い場所には長い時間放置しないでください。火災や感電の原因となります。

外部機器の接続

- コネクターカバーの開閉時に、水や雨が入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。

内蔵充電池について

- 内蔵充電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 分解しない、ショートさせない
  - 加熱しない、火の中に投入しない

ACアダプター（指定品）について

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 必ず本機指定品を使用する
  - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
  - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。

- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。

- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠注意

置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - ほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - じゅうたんや布団の上

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
  - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体を持って抜く）
  - プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
  - 長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
  - プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

内蔵充電池について

- 内蔵充電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 本機で指定されている専用充電池以外は使用しない
  - 長時間使用しないときは、主電源スイッチを切る

表示画面について

- 表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
  - 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください
  - 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください

持ち運びのとき

- 人混みの中では、アクティブアンテナを使用しないでください。アクティブアンテナが目等に当たり、けがの原因となることがあります。

2 各部の名称とはたらき

外部アンテナ端子（外部アンテナ）
屋外アンテナを使うときに別売品のアンテナ整合器、RFコードなどを接続します。

アクティブアンテナ

カラー液晶画面

AV入力端子（AV入力）
モニターとして使うときなどに、別売品のビデオコードを接続します。

スタンド
テレビを見るときにスタンドを引き出せば、本体が傾き、画面に角度がつけられます。

イヤホン端子（イヤホン）
市販のイヤホンを接続します。

主電源スイッチ（主電源）
主電源をスタンバイ／切に切り換えます。主電源をスタンバイに切り換えると「スタンバイ」または「充電」状態になります。※満充電でないとき、ACアダプターを接続すると「充電」状態になります。

コネクターカバー
防水機能を維持するためのパッキンが取り付けてあります。

外部電源端子（DC入力 6V）
同梱のACアダプター、あるいは別売品のカーバッテリー用電源を接続します。

表示切換／メニューボタン（表示切換／メニュー）
押すごとに、チャンネル／ビデオ表示の有無が切り換わります。1秒以上押し続けると、メニュー画面が表示されます（「6 設定するには」参照）。

スピーカー

タイマーボタン（タイマー）
タイマー設定／解除をするときに使用します。1秒以上押し続けるとタイマー設定が解除されます（「5 タイマー機能について」参照）。

電源／充電用LED
電源「入」時:赤色点灯
充電中:緑色点灯
主電源「切」時、「スタンバイ」時、充電終了時:消灯

電源ボタン（電源）
電源の入／スタンバイを切り換えます。

チャンネル/設定ボタン（チャンネル/設定+、−）
希望の放送局を選ぶとき押します（「4 テレビを見るには」参照）。
メニュー画面では、各種の設定に使用します（「6 設定するには」参照）。

音量ボタン（音量+、−）
音量を調整します。

入力切換／決定ボタン（入力切換／決定）
押すごとに、テレビ／ビデオを切り換えます（「7 外部機器と接続するには」参照）。
メニュー画面では、設定を決定するとき押します（「6 設定するには」参照）。

3 充電するには

内蔵充電池は、お買い上げまでの自然放電により、満充電状態ではありません。初めてご使用になる時には必ず充電してください。

充電時間	約6時間

※主電源スイッチを切っている場合は、主電源をスタンバイに切り換えてください。

- ACアダプターを接続しているときは防水になりません。
- 充電用LEDが赤色で点滅しているときは内蔵充電池の故障です。お買い上げの販売店、またはカシオテクノ・サービスステーションに修理を依頼してください。
- 電池持続時間が著しく短くなった場合は、内蔵充電池の寿命です。カシオテクノ・サービスステーションにて内蔵充電池の交換（有償）をいたします。内蔵充電池は消耗品ですので保証期間内でも保証対象外となります。なお、お客様ご自身での交換は絶対になさらないでください。故障の原因となります。

参考

- 本機を使用することができる温度範囲は0℃～40℃ですが、充電することができる温度範囲は、5℃～35℃です。
- 充電用LEDが緑色で点滅するのは、内蔵充電池の温度が充電できる温度範囲外になった場合です。内蔵充電池の温度が充電温度範囲（5℃～35℃）に戻れば、LEDの点滅が止まり、自動的に充電を再開します。

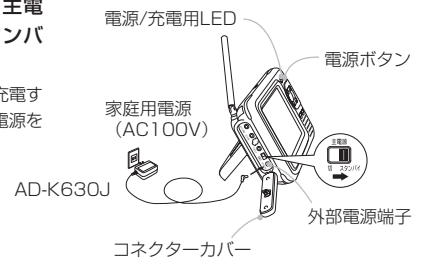
■ 電池持続時間

輝度切換	電池持続時間
標準	約4時間
節電	約5時間15分

- 十分に充電した後、周囲温度25℃、適切な音量で使用した場合の目安です。大きめの音量で使用したり、低温下では短くなります。
- 輝度切換については、「6 設定するには」をご覧ください。
- 内蔵電池の電池寿命は使用状況によって異なりますが、約300サイクル充放電ができます。

■ 充電するには

1 コネクターカバーを開けて、主電源スイッチを入れます（スタンバイ側にします）。

- 本機使用中には充電されません。充電するときは必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。

2 本機にACアダプターを接続します。

- 充電中は、充電用LEDが点灯（緑色）します。充電が終了すると消灯します。

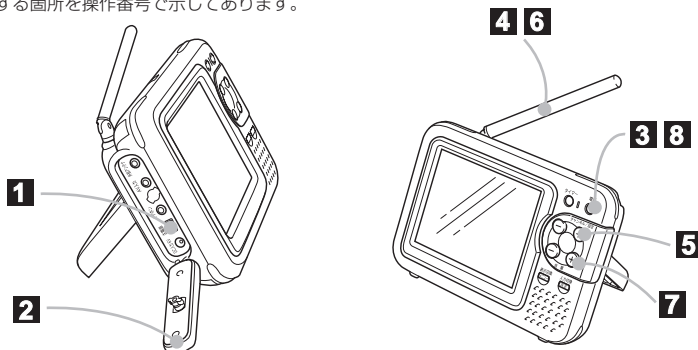
■ 電池残量表示

- 電池残量の目安を表示します。
- 電池残量表示は、動作状況や周囲温度により電池残量の目安と異なる場合があります。
- 電池残量が表示されるのは、以下の場合です。表示時間は約4秒間です。
  1） 電源を入れたとき（ACアダプターを使用していないとき）。
  2） 電源が入っている状態でACアダプターを外したとき。
- 電池残量が約1割未満になると、常に赤色で点滅します。ACアダプターを接続して内蔵充電池を充電してください。

■ 内蔵充電池について

内蔵充電池を長持ちさせるために内蔵充電池は使い切ってから充電してください。初めて充電するときや長時間使用しなかった場合は、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。2～3回充放電を繰り返すことにより通常の状態に戻ります。

4 テレビを見るには

操作する箇所を操作番号で示してあります。

重要

電波状況の悪い地域では、適正なレベルの電波をキャッチできず、思わぬチャンネルで止まったり、チャンネルが行き過ぎてしまうことがあります。
このような場合は、以下の処置を行ってみてください。

- もう一度、チャンネルボタンのいずれかを押してみる。
- アクティブアンテナの方向や角度を調整する。
- 受信する場所を変えてみる。
- アンテナ感度を切り換えてみる（「6 設定するには」参照）。
- マニュアルチューニング（下記）に切り換えてみる。

参考

画質調整（明るさ、色の濃さ、色あい）の操作は「6 設定するには」をご覧ください。

1 コネクタカバーを開けて、主電源スイッチをスタンバイにします。

2

5 チャンネルボタンを使って、チャンネルを選びます。

チャンネルを...

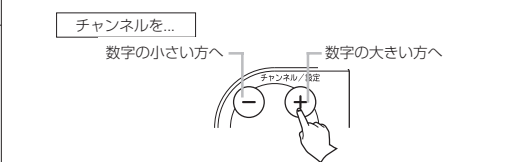
7 音量を調整します。

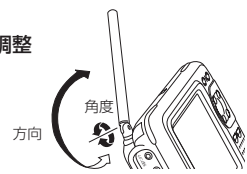
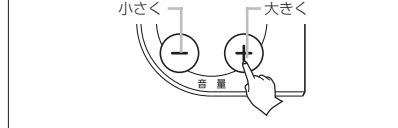
1 コネクタカバーを開けて、主電源スイッチをスタンバイにします。

2 コネクタカバーを確実に閉じます。
・カバーを押さえつけながら、つまみを「閉」側に止まるまで回してください。

3 電源ボタンを押して、電源を入れます。

4 アクティブアンテナを立てます。
外部アンテナを使ってテレビをご覧になるときは、アクティブアンテナをたたんだ状態にしておいてください。

5 チャンネルボタンを使って、チャンネルを選びます。

⇨ 電波をキャッチすると止まります。
・「希望のチャンネルでなかったら、もう一度チャンネルボタンを押す」という要領で、操作を繰り返します。
・うまくいかないときは、右上の 重要 (電波状況の悪い地域では…)もご参照ください。

6 アクティブアンテナのご使用時は、もっとも鮮明な画面になるように調整します。

7 音量を調整します。

8 テレビを見終ったら…
電源ボタンを押して、電源を切ります。

・アクティブアンテナのご使用後はたたんでください。
・アクティブアンテナは大切に扱ってください。

重要
・旅行などで長期間ご使用にならないときは、主電源スイッチを切ってください。

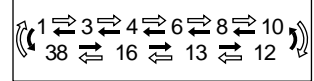
選局(チューニング)の種類について

本機には、オートサーチとマニュアルの2種類の選局方法があります。

重要
・選局方法は、メニューの「選局切換」で設定します(「6 設定するには」参照)。

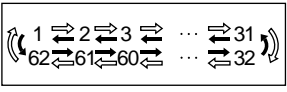
オートサーチ選局

チャンネルボタンを押すごとに、現在受信できる放送局が自動的に選局されます。通常はオートサーチ選局にしてお使いください。
図の局の移り変わりは例であり、受信する場所により異なります。
(例)チャンネル番号

1 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 6 ⇄ 8 ⇄ 10
38 ⇄ 16 ⇄ 13 ⇄ 12

⇨:⊕ を押すごとに
←:⊖ を押すごとに

マニュアル選局

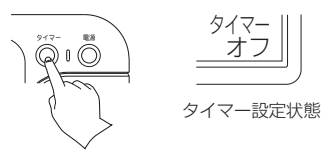
放送局を選局範囲内で1チャンネルずつ変えることができます。通常のオートサーチ選局では希望の局が選局できないときにお使いください。
(例)チャンネル番号

1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ … ⇄ 31
62 ⇄ 61 ⇄ 60 ⇄ … ⇄ 32

⇨:⊕ を押すごとに
←:⊖ を押すごとに

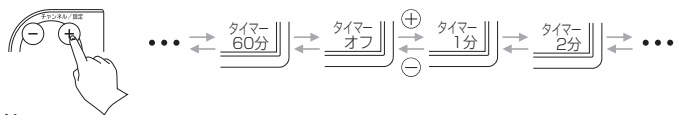
5 タイマー機能について

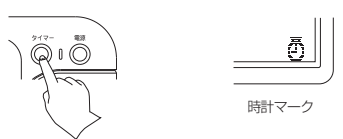
タイマーは1〜60分まで、1分単位で設定できます。時間になるとアラーム音と表示で知らせてくれます。

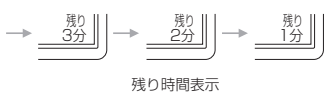
タイマーを設定するには

1 タイマーボタンを押します。
・タイマー設定状態になり、画面右下に図のような表示が出ます。

タイマー オフ
タイマー設定状態

2 設定ボタンを押して時間を設定します。

••• ⇄ タイマー 60分 ⇄ タイマー オフ ⇄(⊕/⊖) タイマー 1分 ⇄ タイマー 2分 ⇄ •••

参考
設定ボタンを押し続けると、連続して時間が変わります。1分単位で変わり、下1桁が「0」になると10分単位で変わります。
(例) ●37分から⊕を押し続けたとき:
37→38→39→40→50→60→オフ→10→20…
●23分から⊖を押し続けたとき:
…40←50←60←オフ←10←20←21←22←23

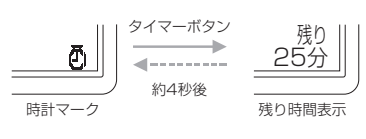
3 タイマーボタンを押します。
・タイマーが設定され、カウントダウンを開始します。
・画面の右下には時計マークが表示されます。

時計マーク

4 設定時間の3分前から画面の右下に残り時間が表示されます。

残り時間表示

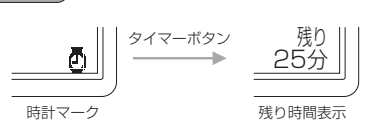
5 設定時間になると、約4秒間アラーム音が鳴り、同時に画面の右下に時計マークが表示されて点滅します。
・アラームが鳴っているとき、アラーム音を止めるにはタイマーボタンを押します。

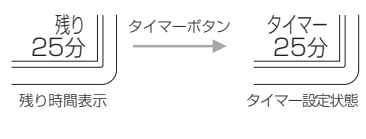
時計マーク点滅

残り時間を確認するには

1 カウントダウン中に、タイマーボタンを押します。
・時計マークが残り時間表示になります。約4秒間表示した後、自動的に時計マークの表示に戻ります。

時計マーク ⇄(タイマーボタン / 約4秒後) 残り 25分
残り時間表示

カウントダウン中に設定時間を変更するには

1 カウントダウン中に、タイマーボタンを押します。
・時計マークが残り時間表示になります。
・残り時間が3分を切っている場合は、タイマーボタンを押すだけでタイマー設定状態になります。

時計マーク → (タイマーボタン) 残り 25分
残り時間表示

2 残り時間を表示している間(約4秒間)に、もう一度タイマーボタンを押します。
・タイマー設定状態になり、カウントダウン中のタイマーは解除されます。

残り 25分 → (タイマーボタン) タイマー 25分
残り時間表示 タイマー設定状態

3 設定ボタンを押して時間を変更します。

4 タイマーボタンを押します。
・変更した時間が設定され、カウントダウンを開始します。

タイマーを解除するには

1 カウントダウン中または残り時間を表示している間に、タイマーボタンを1秒以上押し続けるとタイマーが解除され、時計マークが消えます。

参考
時間を設定または変更しているときに「タイマーオフ」を選択し、タイマーボタンを押すとタイマーが解除されます。また、電源を切ってもタイマーが解除されます。

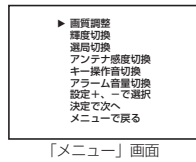
タイマーのアラーム音量を切り換えるには

「6 設定するには」をご覧ください。

6 設定するには

本機には、「画質調整」「輝度切換」「選局切換」「アンテナ感度切換」「キー操作音切換」「アラーム音量切換」の設定があります。

1 メニューボタンを1秒以上押し続けます。

・「メニュー」画面が表示されます。

「メニュー」画面

2 設定ボタンを押し、▶マークを動かして設定項目を選択します。

3 決定ボタンを押します。

・ 選択した項目の設定画面になります。
・ 設定画面でメニューボタンを押すと「メニュー」画面に戻ります。

4 設定ボタンを押して、設定します。

5 設定が終了したら、決定ボタンを押します。

・「メニュー」画面に戻ります。

参考

メニューボタンを押すと、設定を反映せずに「メニュー」画面に戻ります。

6 メニューボタンを押します。

・「メニュー」画面が消えます。

項目	設定画面	設定内容
画質調整	明るさ 6 → 色の濃さ −7 → 色あい 5	・ 決定ボタンを押すごとに、設定画面が「明るさ」「色の濃さ」「色あい」の順に切り換わります。 明るさ：+側に調整すると画面が明るくなり、−側に調整すると暗くなります。 色の濃さ：+側に調整すると色が濃くなり、−側に調整すると色が薄くなります。 色あい：緑側に調整すると緑が強くなり、赤側に調整すると赤が強くなります。
輝度切換	輝度切換 ▶標準 節電 設定+、−で選択 決定で終了 メニューで戻る	・ 消費電力を低くする「節電」モードにできます。「標準」モードよりも電池持続時間が延びます。 ・ 薄暗いところで見るときに「節電」モードを使用すると、画面のまぶしさが緩和されます。
選局切換	選局切換 ▶オートサーチ マニュアル 設定+、−で選択 決定で終了 メニューで戻る	・ 選局方法を設定します。 オートサーチ：現在受信できる放送局を自動的に選局します。 マニュアル：放送局を選局範囲内で1チャンネルずつ変えることができます。
アンテナ感度切換	アンテナ感度切換 ▶遠 近 設定+、−で選択 決定で終了 メニューで戻る	・ 電波の受信レベルに応じて感度を切り換えます。 遠：電波が弱い場合 近：電波が強い場合
キー操作音切換	キー操作音切換 ▶あり なし 設定+、−で選択 決定で終了 メニューで戻る	・ ボタンを押したときに操作音を鳴らす／鳴らさないの設定をします。 あり：キー操作音を鳴らします。 なし：キー操作音を鳴らしません。
アラーム音量切換	アラーム音量切換 ▶大 小 設定+、−で選択 決定で終了 メニューで戻る	・ タイマーのアラーム音量を設定します。 大：アラーム音を大きくします。 小：アラーム音を小さくします。

7 外部機器と接続するには

コネクターカバーについて

コネクターカバーのつまみを「開」側に回してカバーを開きます。閉じるときは、カバーを押さえつけながらつまみを「閉」側に止まるまで回します。

重要

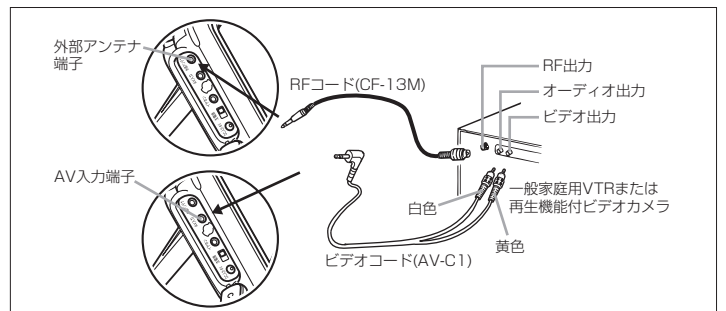
● **本体のコネクターカバーが開いているときは、防水にはなりません。また端子に外部機器が接続されているときも、防水にはなりません。**

屋内で見るとき

● **屋外アンテナ**

電波の受信状況の悪い屋内では、屋外アンテナが使用できます。
接続方法は屋外アンテナの端子やケーブルの形状によって異なります。

屋外アンテナのアンテナ端子（F型）で接続する場合
接続には別売品の RFコード(CF-13M)を使用します。

外部アンテナ端子
RFコード(CF-13M)
RF出力
オーディオ出力
ビデオ出力
AV入力端子
白色
一般家庭用VTRまたは再生機能付ビデオカメラ
黄色
ビデオコード(AV-C1)

重要

・ 使用後は、入力切換ボタンを押して、テレビを選んでください。ビデオのままでは、通常のテレビ放送が見られません。
・ ビデオを特殊再生(静止画・コマ送り・早送り)したとき、接続するビデオによっては、画面が安定しない場合があります。
・ ビデオコードは、必ず本機指定のAV-C1(別売品)をご利用ください。

お風呂で見るとき

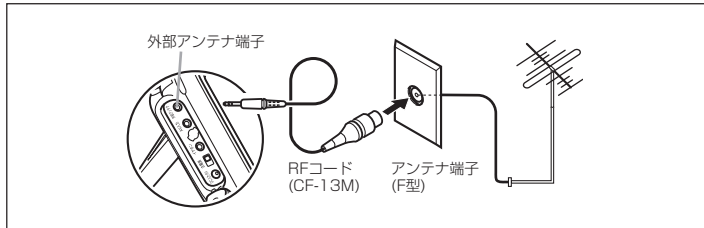
● **クリップ式アンテナコード（ビデオデッキ接続専用）**
＊クリップ式アンテナコードの取扱説明書も必ずお読みください。

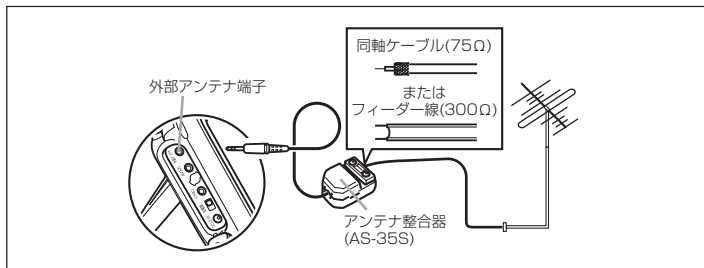
ご使用の前に

・ クリップ式アンテナコードは、RF出力（アンテナ出力）端子がないビデオデッキではご使用にな

電波の受信状況の悪い屋内では、屋外アンテナが使用できます。
接続方法は屋外アンテナの端子やケーブルの形状によって異なります。

屋外アンテナのアンテナ端子（F型）で接続する場合

接続には別売品の RFコード(CF-13M)を使用します。

屋外アンテナのケーブルを直接接続する場合

接続するには別売品のアンテナ整合器(AS-35S)を使用します。

●ビデオデッキなど

本機の画面でビデオの再生をモニターすることができます。指定のコードを使って接続します。ビデオコード(AV-C1)を使用する場合は、入力切換ボタンを押して、ビデオを選びます。また、RFコード(CF-13M)を使用する場合は、入力切換ボタンを押して、テレビを選びます。

(接続用コードは別売)
・接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
・接続は、必ず本体の電源を切ってから行ってください。

● **ビデオコード**(AV-C1)　接続する機器の出力端子がピンジャックのとき使用します。

● **RFコード**(CF-13M)　接続する機器の出力端子がRF出力端子のとき使用します。

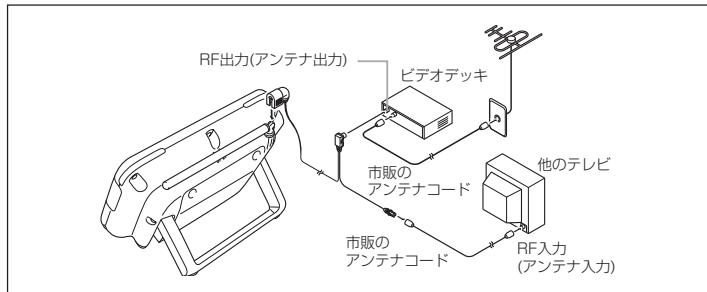
●クリップ式アンテナコード（ビデオデッキ接続専用）

＊クリップ式アンテナコードの取扱説明書も必ずお読みください。

ご使用の前に

・ クリップ式アンテナコードは、RF出力（アンテナ出力）端子がないビデオデッキではご使用になれません。
・ クリップ式アンテナコードを使用しても受信状態が安定しない場合には、市販のブースター（電波を強くする増幅器）を使用することをお勧めします。
・ RF出力（アンテナ出力）端子からビデオの再生信号を出力しないビデオデッキでは、液晶テレビでビデオの映像を見ることはできません。

使用方法

1. 液晶テレビのアクティブアンテナを収納します。
2. クリップ式アンテナコードのクリップを、アンテナの根元に差し込みます。
3. 市販のアンテナコードを使って、コードの端にあるRFコネクタとテレビのRF入力（アンテナ入力）を接続します。
4. コードの中間にあるRFコネクタをビデオデッキのRF出力（アンテナ出力）に接続します。

⚠ **警告**
- 雷が鳴り出したら本機やクリップ式アンテナコードには触れないでください。感電の原因となります。
- クリップ式アンテナコードを、壁面のアンテナ端子や外部アンテナに直接接続しないでください。落雷により火災や感電の原因となります。
- クリップ式アンテナコードを、風呂のお湯(水)の中に浸けないでください。落雷により火災や感電の原因となります。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

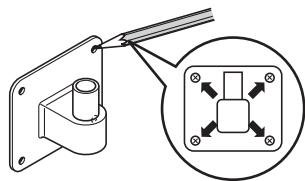
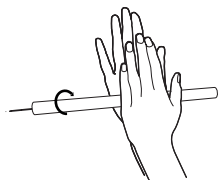
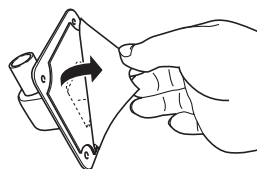
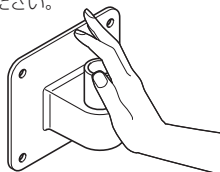
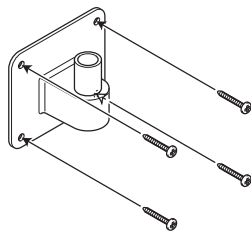
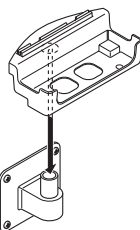
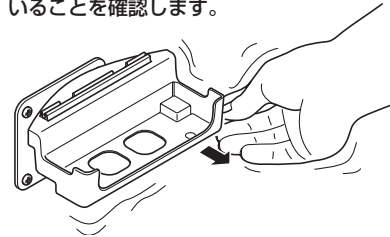
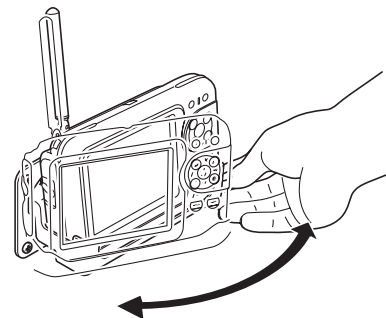
市販のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

8 壁掛け用スタンドを設置するには

準備

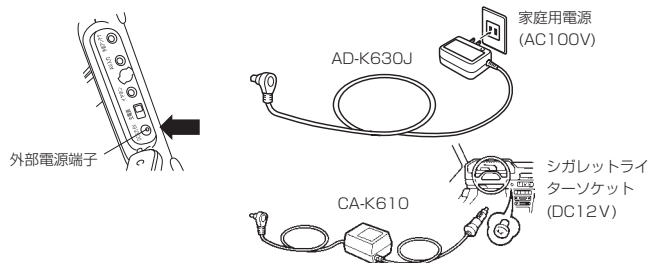
・ **取り付ける場所を決めてください。タイルなど堅い場所には取り付けることができません。**
・ **取り付ける場所の汚れや油分を清掃し乾燥させてください。**

壁掛け用スタンドを設置する際は、必ず付属のネジを使用して取り付けてください（ネジを使用せず両面テープのみで固定されますと液晶テレビの重さで両面テープが剥がれ、液晶テレビが落下して、けがや故障の原因となります）。
ネジによる壁掛け用スタンドの設置ができない場合は、背の低い安定した台などの上に液晶テレビを置いてご使用ください。

1 スタンドを取り付ける場所に目印を付けます。
・ ベースプレートを取り付ける場所にあてがって目印を付けてください。

2 径（φ）1mmのキリで下穴を開けます。

3 ベースプレートに貼ってある両面テープの裏紙をはがします。

4 ベースプレートを下穴にあわせて、壁に強く押し付けます。
・ 押し付けた後、強く接着させるために、そのまま一日放置してください。

5 ネジを下穴に締め込みます。

6 スタンドを組み立てます。

7 スタンド本体を軽く引っ張り、確実に固定されていることを確認します。

8 液晶テレビを乗せて、見やすい位置にスタンドを回してください。

9 電源について

本機は、内蔵充電池、家庭用電源、カーバッテリーの3電源方式です。

電　源	解　説	本機指定電源器具の型式
内蔵充電池	表面の「3 充電するには」を参照して、充電してください。	専用充電池 ニッケル水素充電池 3HR-4/3FAUC
家庭用電源（AC100V）	指定ACアダプターを接続すると、家庭用電源（AC100V）が使えます。	ACアダプター AD-K630J
カーバッテリー（DC12V）	指定のカーバッテリー用電源器具を接続すると、DC12Vの車のシガレットライターソケットから電源が取れます。	カーアダプター CA-K610（別売品）

重要

内蔵充電池について

本機は充電式電池を内蔵しております。電池持続時間が著しく短くなった場合は内蔵充電池の寿命です。内蔵充電池の交換に関しては必ずカシオテクノ・サービスステーションに依頼してください。有償にて内蔵充電池の交換をいたします。内蔵充電池は消耗品ですので保証期間内でも保証対象外となります。なお、お客様ご自身での交換は絶対になさらないでください。故障の原因となります。

ACアダプターで使用するとき

- 必ず本機指定のACアダプター(EIAJ規格・極性統一形プラグ付き)をご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると、本体または電源の故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。絶対におやめください。指定以外のACアダプターの使用による障害は保証できません。
- ACアダプターを抜き差しする際には、本体の電源を切ってから行ってください。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。

カーバッテリーで使用するとき

- トラック、バスなどのシガレットライターソケット(DC24V)には接続しないでください。
- カーバッテリー用電源器具は必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると本体または電源器具の故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。絶対におやめください。指定以外の電源器具の使用による障害は保証できません。
- 電源器具を抜き差しする際には、本体の電源を切ってから行ってください。
- エンジンを始動および停止する場合は、本体の主電源を必ず切ってから行ってください。
- 電源器具は、長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、電源器具をシガレットライターソケットから必ずはずしてください(車の故障の原因になったり、バッテリーがあがることがあります)。
- 車種によっては、電源器具のプラグのサイズが、シガレットライターソケット(DC12V)の口径に合わない場合があります。ご注意ください(特に外国車など)。

10 ご使用上の注意

電源について

- 指定以外の電源は使わないでください。指定以外の電源を使用すると故障や火災など思わぬ事故の原因となります。

指定電源	
ACアダプター：	AD-K630J
カーバッテリー用電源器具：	CA-K610
内蔵充電池：	専用充電池 3HR-4/3FAUC（ニッケル水素充電池）

取り扱い上のご注意

- お手入れにはベンジンなど化学薬品は使わないでください。
  ケースが変質したり、塗料がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固く絞って拭いてください。
- スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
- 浴室用洗剤が本機にかからないようにしてください。かかった場合は速やかに洗い流してください。
- 石けんやシャンプーがついたときは洗い流してください。

極端な温度下や日差しの強い場所には放置しないでください

- 窓を閉めきった自動車内、直射日光の当たるところ、暖房器具の近くなどには放置しないでください。本機の変形や、液晶パネルの故障の原因となります。
  （保存温度範囲：－20℃～+60℃）
- 0℃以下、40℃以上になると映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します（使用温度範囲：0℃ ～ +40℃）。
- 低温での使用は、電池持続時間が短くなることがあります。

故障とお思いになる前に

万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前に、もう一度次の点をお確かめください。

現　象	

製品を廃棄される場合

製品を廃棄する際は、内蔵充電池を取り外してリサイクルしてください。

●内蔵充電池の取り出し方

充電式電池の取扱いについて

●リサイクルのお願い

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>

詳細は、有限責任中間法人 JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.com/

●使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

防水についてのご注意

本機は日常生活上の防水（JIS保護等級6耐水形相当）が施されており、雨や雪、水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

（1）水の中には入れないでください。
（2）誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。
（3）多量の水をかけないでください。
（4）水濡れ後は、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
　※ 本機内部がショートする恐れがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。
　※ 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
（5）水がかかる恐れがある場合は、コネクターカバーを確実に閉めてご使用ください。
（6）コネクターカバーを閉じるときに、コネクターカバーのパッキンに微細なゴミ（髪の毛や砂粒など）が挟まらないようご注意ください。
（7）コネクターカバーは、防水機能を維持するための大切な部品ですので、パッキンを取り外したり、汚れや傷がつかないようにご注意ください。
（8）防水機能を維持するため、定期的（2年に1度）に点検（有償）することをお勧めいたします。

水の中でお使いになったり、コネクターカバーを開けた状態でお使いになると、水が侵入します。水の侵入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

このような場所では、テレビが映りにくいことがあります。

- 放送局から遠くはなれていたり、山やビルのかげになっている場所。
- 高圧線、ネオン、無線局などが近くにあって妨害電波が多い場所。
- 移動中の電車の中や自動車の中。
- 線路、高速道路の近くや、航空路の下。
- 地下街、トンネルや、気密性の高い建物（高層ビルなど）の中。

故障とお思いになる前に

万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前に、もう一度次の点をお確かめください。

現　象		確認事項
画像	音声	
× 出ない	× 出ない	1.電池が消耗していませんか。 2.ACアダプターやカーバッテリー用電源器具が正しく接続されていますか。 3.指定以外の電源を使用していませんか。 4.入力の設定が「ビデオ」になっていませんか（テレビを見る場合）。
○ 出る	× 出ない 聞きとりにくい	1.音量が最小になっていませんか。 2.イヤホンが差し込まれていませんか。
△ 不鮮明	△ 聞きとりにくい	アンテナ感度切換が正しく設定されていますか。
△ 不鮮明 画像が流れる くずれる 二重になる ボケる その他	○ 出る	1.アクティブアンテナが正しく調節されていますか。 2.AV入力端子に指定以外のコードを接続していませんか。 3.自動車、電気器具などからの妨害電波を受けていませんか。 4.電波が弱いかあるいは障害物がありませんか。 5.選局切換が「マニュアル」に設定されていませんか。
△ 暗い ボケる	○ 出る	1.明るさが「−」側に調整されていませんか。 2.輝度切換が「節電」になっていませんか。

現　象	確認事項
防水テレビ本体が熱くなる	使用中や充電中は熱くなりますが、故障ではありません。
音声が小さくなった	スピーカーの音孔部に水が入っていませんか。 （乾燥した場所に放置して水分を蒸発させてください）
CASIOの文字が画面の右から左に移動して表示される	カシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

製品仕様

製　品　名　SY-4100
種　　　類　液晶カラーテレビ
受信チャンネル　VHF：1〜12ch　UHF：13〜62ch
表 示 素 子　高解像度カラーLCD<TN型液晶>(注1)
画　素　数　40,920 画素
ド ッ ト 数　558×220ドット（RGBデルタ配列）
画 面 寸 法　幅8.1・高さ6.1・対角10.1cm（4V型）(注2)
使 用 光 源　内部光（バックライト）：高輝度蛍光管
カ ラ ー 方 式　N.T.S.C
駆 動 方 式　TFTアクティブマトリクス方式
ア ン テ ナ　アクティブアンテナ
ス ピ ー カ ー　2.8cm 丸型1個
接 続 端 子　外部電源端子：DC入力6V ⊖—●—⊕
イヤホン端子：ϕ3.5mmミニタイプ
AV入力端子：ϕ3.5mm3極ミニタイプ
外部アンテナ端子：ϕ3.5mmミニタイプ
消 費 電 力　約4.9W
使 用 電 源　3電源方式
内蔵充電池：専用充電池　ニッケル水素充電池 (3HR-4/3FAUC)
AC 100V：指定ACアダプター（AD-K630J）
カーバッテリー：指定カーアダプター（CA-K610）別売品
防 水 機 能　JIS保護等級6耐水形相当
外 形 寸 法　幅15.4×奥行4.8×高さ10.0cm
質　　　量　約570g
付　属　品　ACアダプター（AD-K630J）、壁掛け用スタンド（フロスタンド/ベースプレート/固定用ネジ4本）、取扱説明書（本書）

(注1) 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
(注2) テレビのV型（42V型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

別売品のご案内

① アンテナ整合器 (AS-35S)
② RFコード (CF-13M)
③ クリップ式アンテナコード (CF-261)
④ ビデオコード (AV-C1)
⑤ カーアダプター (CA-K610)

● 使用およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

● 高圧線、ネオン、無線局などが近くにあって妨害電波が多い場所。

● 線路、高速道路の近くや、航空路の下。

層ビルなど）の中。

蛍光管について

1. バックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。暗くなったりチラつく場合は最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、約10,000時間です。
2. 低温でご使用の場合はバックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。